

新型コロナを乗り越えて 人々が助け合う社会へ



新しく完成した市立旭川病院の感染症センターを視察する日本共産党旭川市議団 = 2021年12月

新型コロナウイルスの感染が年々も続く中、市民の暮らしも経済も大きな影響を受けました。特に昨年はオリンピックの開催もあり、感染の第2波が長く引くことになり、様々な業種に深刻な打撃となりました。

日本共産党市議団は、市立旭川病院の感染症病棟の改修や宿泊療養施設の増床、高齢者施設などの大規模検査、事業者への持続化給付金の再交付など、市民の暮らしと経済を守り、平和な社会実現のために様々な提案を行ってきました。

市政は今津寛介市長に代わりましたが、党市議団はこれまで同様、厳しいチェックと建設的な提案で、是々非々で臨みます。特にごみ処分場建設などの大型事業を控えている中で、新しい事業は財政的な見通しや優先順位を明確にしていく必要があります。

国政では、昨年末に補正予算が可決しましたが、軍事費の増額が突出しています。一方で、コロナ禍でも自己責任を追及する政治により、社会保障全般の改善が計画され、高齢者医療の負担増が狙われています。

新型コロナを乗り越えて、利潤第一主義の社会から人々が助け合う社会へ、政治を大きく転換させる必要があります。

日本共産党市議団は市民のみなさんと力を合わせて、くらしと地元経済、平和なまちづくりのために、全力で頑張る決意です。

二〇二二年一月

日本共産党旭川市議団

市民の願い実現に全力を尽くします



市議会議員
まじま隆英



市議会議員
小松あきら



市議会議員
石川厚子



市議会議員
の と や 繁

2022年1月 / 日本共産党市議団発行 旭川市6条9丁目 市議会内 電話22-6341

市民の願い実現 福祉灯油を実施



11月、市民団体とともに
福祉灯油の要請

12月2日、日本共産党旭川市議団が、旭川市に対し「2022年度予算と市政執行について」の要望書を行った中で、今津寛介市長は福祉灯油の実施を表明しました。

党市議団は、灯油代捻出のために食費や医療費・介護費用を削る事態が続いているとして、低所得世帯に対して「福祉灯油」1万円以上の実施を求めました。

また、11月24日には、旭



6月、保育団体とともに要請

6月15日、「旭川保育連絡会」と「旭川子どもと保育の明日を語る連絡会」が市長あてに要望書を提出。日本共産党市議団が同行しました。

子どもにワクチン接種ができないため、保育所等に働く職員に、ワクチン接種を優先するよう求めています。

また、保育所が休みになると、子どもを預けられず、仕事を休まざるをえなくなり、社会的影響が大きい。定期的にPCR検査を実施するよう求めています。

保育士にワクチン優先接種を



5月、上川総合振興局長に要請

日本共産党市議団は真下紀子道議とともに5月18日、北海道知事宛の「新型コロナウイルス感染症対策における宿泊療養施設の強化」についての要望書を上川総合振興局長に提出し、迅速な対応を求めました。

旭川市における新型コロナウイルス感染者は、今年度に入りクラスターが頻発し、感染者数が増加する中で、17日の現在の病床使用率が70%と、病床が逼迫しています。

子ども医療費助成の拡充、少人数学級の実現を



11月、新婦人とともに要請

11月19日、新日本婦人の会旭川支部が、子ども医療費の助成拡充と教育行政について、要望書を提出し懇談しました。

市議団は、北海道が設置する宿泊療養施設の収容人数が、道北圏域（三次医療圏）の収容人数とはあまりにも少なく、他の圏域に比べ二分の一、三分の一と著しく少ない状況を指摘し、札幌市で自宅療養の方が死亡した事例が発生したことを踏まえて、道北圏における宿泊療養施設の強化が喫緊の課題として、早急な対応を求めました。

市議団は、北海道が設置する宿泊療養施設の収容人数が、道北圏域（三次医療圏）の収容人数とはあまりにも少なく、他の圏域に比べ二分の一、三分の一と著しく少ない状況を指摘し、札幌市で自宅療養の方が死亡した事例が発生したことを踏まえて、道北圏における宿泊療養施設の強化が喫緊の課題として、早急な対応を求めました。

市議団は、北海道が設置する宿泊療養施設の収容人数が、道北圏域（三次医療圏）の収容人数とはあまりにも少なく、他の圏域に比べ二分の一、三分の一と著しく少ない状況を指摘し、札幌市で自宅療養の方が死亡した事例が発生したことを踏まえて、道北圏における宿泊療養施設の強化が喫緊の課題として、早急な対応を求めました。

コロナのベッド確保を